

## IV-49

## 仙台市におけるポケットパークの現状と評価

東北工業大学 正員 村井貞規

## 1. 序論

都市は常に変貌している。その状況を評価する方法は対象に応じて色々あるが、代表的な都市施設である公園もその評価、比較の基準となる。すなわち公園は都市の住みやすさや都市施設整備の充足度を表わす指標として、一人当たりの広さという単位で表わされることが多い。都市公園の中心は基幹公園であり、児童公園から総合公園に至る、一連の公園が整備されている。しかし実際は必ずしも市民が利用しやすい場所に置かれるわけではなく、また市民が多く集まる都市中心部に広い面積を確保することはますます困難になっている。

そうしたことを背景に、高密度化した都市内の僅かなスペースを歩行者や住民に休息や語らいの場として提供し、都市環境の向上に役立たせる目的で設けられるようになってきたのが、ポケットパークである。ポケットパークは行政のみが整備するものではなく、企業が敷地の一部を提供して設置することができる小空間であり、我々の周りの都市空間にも徐々に見られるようになってきた（写真-1）。

本研究は仙台市の中心部において最近見られるようになってきたポケットパークを調査し、規模、路面の種類、そしてそこに置かれているストリートファニチャーの状況を調べ、その現状について分類と評価を試みたものである。

## 2. ポケットパークとその評価

ポケットパークとはベスト（チョッキ）のポケットのような公園ということから名付けられたもので、ニューヨークに設けられた「ペイリーパーク」をその起源としているといわれる<sup>1)</sup>。その条件は・小さい空地であること・修景化されていること・都市の自由空間であること などである。すなわち都市内の狭い空間を有効に利用し、潤いのあるスペースを提供することがその特徴である。

著者の研究室では仙台市中心部の街路を対象として、ストリートファニチャーなどの現況調査を継続しているが、最近その街路近傍（時には街路そのもの）にポケットパークとして分類される空間が見られるようになってきた。そこで、ここでは仙台市中心地域でのポケットパークの現況についての調査結果について述べることにする。ストリートファニチャーについての分類は、デザイナーとのディスカッションの中から、その印象に関しては、人工的なものについて、クラシック（C）←→モダン（M）を一つの軸とし、それらと直角な方向にナチュラル（N）を取った。ただし素材としてはナチュラルでもクラシック、モダンに分類されるものも有り得るので、これらの関係は図-1のように表わされるものとする。これらは単独では個々の印象に対する評価を表わすだけであるが、その空間の統一性を図るには、全体の形式をそろえることが重要である。しかし調和という点については、すべての印象をそろえる

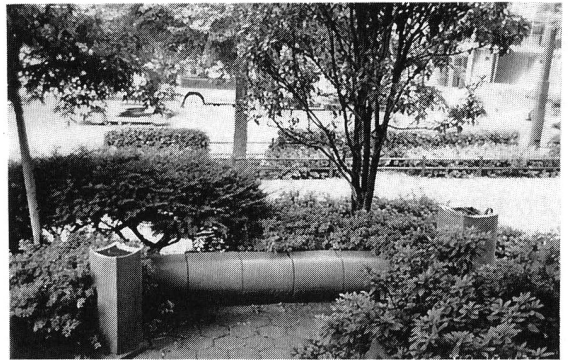


写真-1 ポケットパーク

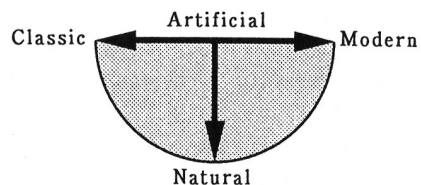


図-1 ストリートファニチャーの分類

ことが、必ずしも必要ではないかもしれない。すなわちより高度な組み合わせも有りうると思われる。

### 3. 調査結果

図-2は今回の調査の対象とした仙台市中心部ポケットパークの場所を示したものである(部分)。調査においてはそれぞれの対象ごとに調査票をつくり、名称、所在地、その置かれた用途地域(今回はすべて商業地域に属していた)、路面の種類、面積などを記入した。なおこの中に地下空間を利用したもの、ショッピングビル内に設けられたものも含めるが、モールについては、小空地という範疇には入らないので、対象から除外してある。ストリートファニチャーについてはその種類を調べ、さらにその印象についての評価を試みた。これらの概要を表-1に示す。こうした結果から次のようなことらになった。

・面積は100㎡程度以下のものが多いが100㎡を超えるものもある。・照明、ベンチ、植栽などのストリートファニチャーを基本的に具えており他に噴水、灰皿、ゴミ箱、電話、時計などが置かれている。・路面はブロック系、特にレジンコンクリート平板、擬石タイルなどが多い。

### 4. 結論

機能性と共にゆとりといった価値観が都市には求められるようになってきて久しい。こうしたことを背景に、従来の行政が設置する公園とは異なるポケットパークが都市中心部に整備されつつある現状調査結果について報告した。このような傾向は今後もさらに発展していくと思われるが、企業が作り出す空間が多いだけに、より個性的で魅力のあるものになる可能性があるといえよう。またポケットパークとは異なるが、敷地内に個性的なモニュメントを備えたスペースを持つビルが増えてきたことも新しい傾向である。歩行者や住民にとって、街路とその付属の空間はイベントの時だけではなく、常に魅力に富むものであってほしいし、そのための努力を継続することが望ましいといえよう。

表-1 仙台市中心部のポケットパークの現状

|          | 設置地区 | 用途地域 | ストリートファニチャー |          |    |           | 路面              | 面積<br>(㎡) |
|----------|------|------|-------------|----------|----|-----------|-----------------|-----------|
|          |      |      | 照明          | ベンチ      | 植栽 | その他       |                 |           |
| エスバル地下   | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ○(M, S)  | ○  | 噴水、灰皿、ゴミ箱 | レジンコンクリート平板     | 50        |
| J R東日本   | 青葉区  | 商業地域 | ○(C)        | ○(CN, S) | ○  | 灰皿、ゴミ箱    | 洗いだしコンクリート平板    | 120       |
| 日通仙台支店   | 青葉区  | 商業地域 | ○(C)        | ○(C, BS) | ○  | 灰皿        | インターロッキングブロック舗装 | 10        |
| SS30     | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ×        | ○  | モニュメント    | 擬石タイル           | 400       |
| 仙建工業ビル   | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ○(MN, S) | ○  | 時計        | 擬石タイル           | 40        |
| 仙台駅PD    | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ○(NC)    | ○  | 灰皿        | せつ器質タイル         | 24        |
| 仙台興和ビル   | 青葉区  | 商業地域 | ○(N)        | ○(NC)    | ○  | 噴水、灰皿、ゴミ箱 | せつ器質タイル         | 160       |
| 日本長銀ビル   | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ○(C)     | ○  | 噴水        | レガタイル           | 130       |
| 青葉通り地下   | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ○(MN)    | ○  | 噴水、電話、掲示板 | レジンコンクリート平板     | 200       |
| 仙台市役所    | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ○(NC)    | ○  | 噴水、灰皿、ゴミ箱 | レガタイル           | 140       |
| タワービル    | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ○(M, S)  | ○  | 灰皿、ゴミ箱    | コンクリート舗装        | 40        |
| 明治生命ビル   | 青葉区  | 商業地域 | ○(M)        | ○(MN, S) | ○  |           | レジンコンクリート平板     | 40        |
| NAVIS    | 宮城野区 | 商業地域 | ○(C)        | ○(C)     | ○  | 灰皿、ゴミ箱    | アスファルト舗装        | 60        |
| ROY NEXT | 宮城野区 | 商業地域 | ○(M)        | ○(M)     | ○  |           | 擬石タイル           | 100       |
| ユアテック    | 宮城野区 | 商業地域 | ○(M)        | ○(CN)    | ○  |           | レジンコンクリート平板     | 90        |

\*ベンチの欄のBはベンチ、Sはストूलを表わす。

参考文献(1)熊野 稔:ポケットパーク, 都市文化社, 1991。(2)デザイン委員会, イギリス都市計画協会:新しい街路のデザイン, 鹿島出版会, 1980。

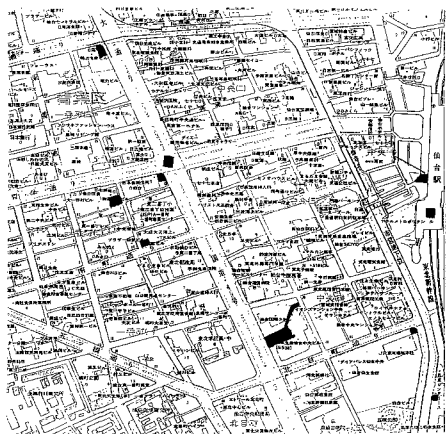


図-2 ポケットパークの位置